

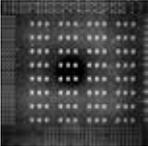
構造・機能を有した膜タンパク質を 48時間で入手

発現系の構築が難しい膜タンパク質

近年、創薬ターゲットの60%以上が膜タンパク質ですが、この精製タンパク質の獲得には、膜タンパク質の性質上ミスフォールディングや凝集することが多く、また成功したとしてもその収量は低く、構造・機能解析研究が困難なケースがほとんどです。

eProtein Discovery™ は膜タンパク質研究を成功に導きます

Nuclera社のスクリーニングソリューションでは添加剤のカスタマイズが可能です。ナノディスク、シャペロン、金属イオン、補酵素、界面活性剤、酸化還元剤などを用いて発現および精製条件を微調整し、膜タンパク質のフォールディング、安定性、機能性を最適化します。これにより、膜タンパク質の可溶性発現へのプロセスを加速し、スケールアップまで合わせて、48時間で精製タンパク質を入手可能にします。

特徴	概要	効果
 <p>膜タンパク質のスクリーニングを加速させる</p>	<p>添加剤をカスタムできる8種類の無細胞タンパク質合成系ブレンドと、11種類の目的配列を24時間でスクリーニング</p>	<p>最適条件の特定をスピードアップ</p>
 <p>装置の自動化と小型化</p>	<p>ナノ液滴デジタルマイクロfluidicsによる88の発現および精製自動スクリーニング</p>	<p>研究室のスペース確保と試薬消費量の削減</p>
 <p>独自のディテクションタグによる蛍光定量</p>	<p>オンカートリッジ蛍光定量ベースのタンパク質アッセイは、可溶性かつ安定発現したタンパク質のみを定量</p>	<p>リアルタイムQCによるタイムロスの削減</p>
 <p>アッセイに使用可能なタンパク質の取得</p>	<p>スクリーニングにより最適条件でスケールアップが可能。精製されたタンパク質はクライオ電子顕微鏡や機能アッセイ用に使用可能</p>	<p>48時間でスケールアップまで完了</p>

一貫したワークフローで、アッセイに使用可能な膜タンパク質をμg~mgスケールで入手可能にします

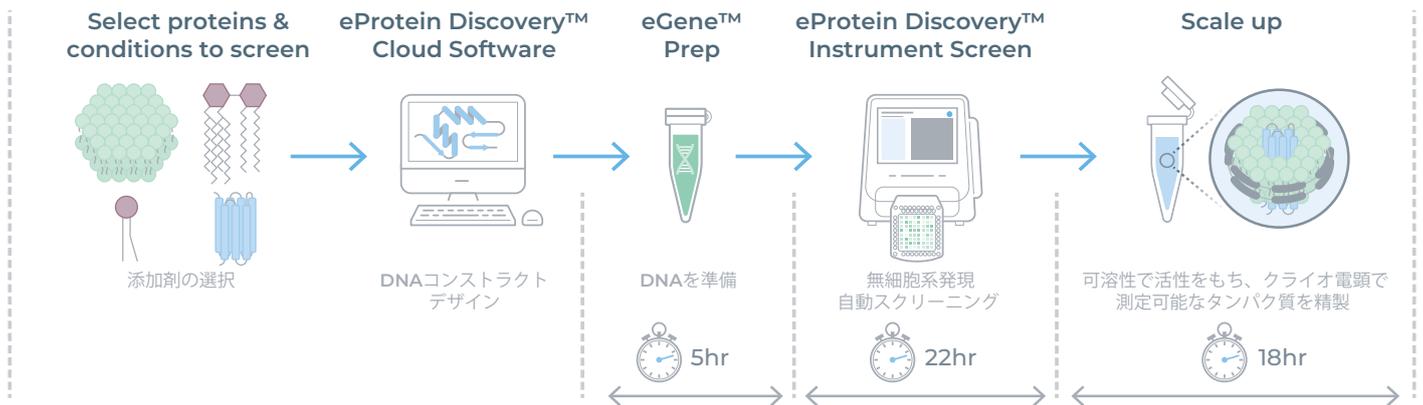


Figure 1. eProtein Discovery™ ワークフロー

さまざまな種類の膜タンパク質に対応しています

GPCRからイオンチャネルまで、高収率でアッセイに使用可能な膜タンパク質を効率的に精製するための条件をスクリーニングし、最適化することにより、タンパク質生産を合理化します。

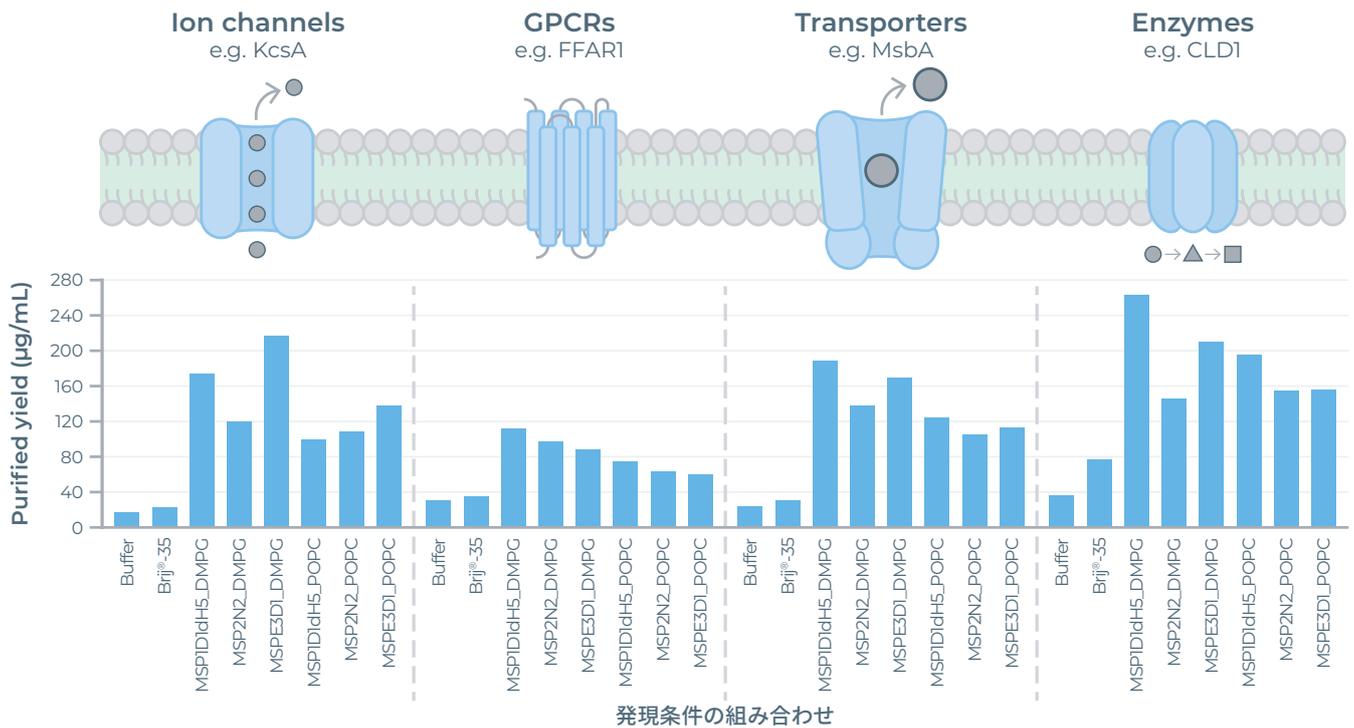


Figure 2. eProtein Discovery™ を用いた異なる界面活性剤とナノディスクによる、膜タンパク質発現スクリーニング

輸入販売元



本社 大阪府箕面市船場西三丁目10番3号
 〒562-0036 TEL 072(730)6790 FAX 072(730)6795
 東京支社 神奈川県川崎市中原区新丸子東三丁目1200番地 KDX武蔵小杉ビル
 〒211-0004 TEL 044(430)3245 FAX 044(433)4390

<https://www.kiko-tech.co.jp/>



- ・記載の内容は2025年9月現在のものです。
- ・記載の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・掲載製品は研究用のみ使用できます。診断目的及びその手続き上での使用はできません。